

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、富裕層の高齢者を中心に、購買意欲が大きく高まりつつある。
	◎	高級レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染状況と、それに伴う政府や自治体の施策に左右されるが、全体としては楽観視している。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、年配客の来店が目につき始めている。
	○	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンについては、高齢者だけでなく他の年代も打てるようになるため、状況は良くなると期待したい。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置の解除で、休業中の店も営業が再開するため、少し良くなる。
	○	一般小売店〔家具〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ完了するため、景気が良くなる。
	○	一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、一時的に回復していくと予想されるが、景気が回復するかどうかは分からない。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・前年と比べれば、新型コロナウイルスの影響は若干あるが、売上は少し増えている。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が済んだ客が、それを理由に久しぶりに来店するなど、接種が進めば、徐々に来客数が増えると予想される。
	○	百貨店（売場主任）	・今月は食品が好調に推移しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡って感染者数の減少が進めば、人流が戻るため、他の商材への波及が期待できる。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来客数も増えると考えられる。今はコロナ禍により、遠方の客は高齢者を中心に来店を控えている。
	○	百貨店（マネージャー）	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しつつあり、来客数が戻ってくると予想される。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、現状よりも感染状況が改善されていることを前提とすれば、景況感は良くなることが予想される。
	○	百貨店（販売推進担当）	・実店舗の営業は苦戦しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、世の中の動きが前向きな方向に変われば、徐々に回復が進む。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり進んでおり、高齢者に限ればかなりの接種率になる見込みである。高齢者が主要な客である百貨店では、客の消費マインドの上昇が予想される。
	○	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が確実に進んでいくなかで、1年半にわたって続いた社会の停滞は徐々に緩和され、景気は回復に向かうと予想される。一方、変異株への対応が直近の課題となり、東京オリンピックの開催による感染状況への悪影響も懸念されるなか、全体的な回復には少し時間が掛かる。
○	百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がっているほか、自粛慣れもあり、街の人出が回復している。外出したい欲求も高まることで、様々な消費意欲の上昇が予想される。秋の衆議院選挙に向けた景気対策にも期待できるなど、消費の機会をうまく提示することで、様々な商機を生み出せそうである。	
○	百貨店（売場マネージャー）	・6月初旬から、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっている。特に、和歌山地区は全国的にも接種率が高い。これから消費者の外出機会は増え、百貨店への来店客も増えると予想される。それに伴い、小売業や製造業の景気も良くなっていく。	
○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの変異株の世界的な感染拡大などが、景気回復のブレーキとなる可能性がある。一方、ワクチンの接種が国内で大きく進むことで安心感が広がるほか、各種のイベント再開による反動消費も、徐々に出てくると予想される。	

○	百貨店（サービス担当）	・今のような水準で新型コロナウイルスの感染状況が推移し、ワクチン接種が順調に進めば、安全に外出できる環境が整う。また、東京オリンピックの効果や、物産催事の充実などで集客の増加につながり、売上が伸びると予想される。
○	百貨店（服飾品担当）	・徐々に来客数が戻り、関西での新型コロナウイルスの感染者数も減少しているため、夏以降は買上が少し戻ると予想される。ワクチン接種済みの客の来店も増えるなど、安心感が出てきており、百貨店の対策への信用度も上がってきたことから、来客数は増加傾向になると予想される。
○	百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染状況が落ち着けば、周辺の飲食店の営業時間が延び、街自体の人出が増える。来客数が増えれば、売上の回復も期待できる。
○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチンを接種する年齢層が広がることで、感染の抑制が9月頃には見込まれる。
○	スーパー（店長）	・東京オリンピックの開催による感染拡大の懸念が解消され、新型コロナウイルスのワクチン接種率がどこまで上がるかが鍵となる。梅雨明け後、東京オリンピック開催時期からお盆にかけて、人の移動が緩和されれば、これまでの反動もあって消費は上向く可能性が高い。
○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増え、消費マインドは上向くことが予想される。旅行や行楽需要が出てくれば、全体に活気が戻ってくる。
○	スーパー（企画担当）	・地域の住民や、新型コロナウイルスのワクチン接種者への商品券の配布、キャッシュレス決済のポイント還元など、商圏内では各自治体による様々なキャンペーンが実施予定である。新店舗のオープンもあり、売上の増加につながるイベントも多いため、来客数を増やすことで更なる売上のアップにつなげる。
○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染者数が増えれば、状況は予測不能となる。今の状況で東京オリンピックが開催されるため、感染者数の増加が予想されるが、今後は経済を回す方向で対策が進められるため、少しは良くなると予想される。
○	コンビニ（経営者）	・東京オリンピックが始まり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、テレワークは減少傾向となる。現在よりも、来客数は10%ほど増える見込みである。
○	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されて、東京オリンピックが開催され、人の流れが活発になることで、景気は良くなる。
○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くが、ワクチンを接種する人も増え、人の活動も少し活発になると予想される。
○	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進み具合で変化するが、各種の制限が少なくなれば、少し景気も良くなる。
○	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、街の人出が増え、服を買う人も増える。
○	家電量販店（店員）	・梅雨が明けると気温が上がり、エアコンの販売が増えてくる。例年よりも梅雨入りが早かったため、今年は暑くなることが予想される。それに伴って一気に販売台数も増えるため、やや良くなる。
○	乗用車販売店（販売担当）	・徐々に生産が増えてきている。車を欲しがっている客は多いため、在庫さえそろってくれば、販売台数は伸びる。
○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、以前のように気軽に買物してもらえるようになってほしい。来月はボーナス商戦もあるため、期待している。
○	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気の回復が進むと考えられる。東京オリンピックの開催後に緊急事態宣言が発出されなければ、緩やかな回復から大幅に改善につながると予想される。
○	高級レストラン（スタッフ）	・まん延防止等重点措置が、このまま順調に解除されれば、活気も戻ってくると信じている。今後も引き続き、新型コロナウイルスの感染防止に努めたい。
○	一般レストラン（店員）	・酒類の提供が始まり、客が戻りつつある。このままいけば、お盆にはもっと増える。
○	観光型ホテル（経営者）	・当地区に出されているまん延防止等重点措置は、7月11日までの予定であるが、本当に解除されるかどうかはまだ分からず、引き続き厳しい状況が続くと覚悟している。

○	観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が若い世代まで進むと予想される。それに伴い、休止しているGo To Travelキャンペーンの再開が期待される。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門は受けていた予約がほぼキャンセルとなり、会議中心の販売となっている。レストランは、今後ディナー営業ができるかどうかが鍵となる。客室も単価の低下が顕著であるが、薄利多売の市場でも単価を維持して販売していく。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・7月11日までは、まん延防止等重点措置の継続で動きはなさそうである。今後も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、新型コロナウイルスのワクチン接種人数などの状況次第で、景気の好不調は決まる。今は先の宿泊予約も余り入らず、宴会や会議の動きもない状況である。ただし、客からの話をまとめると、感染収束後は一気に動き出す可能性がある。
○	都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言が6月21日から解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、それに伴い宿泊の稼働率も徐々に上がり、レストランの客も少しずつ戻りつつある。
○	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた観光需要が回復に向かう。ひとまずは東京オリンピックの成功が1つの鍵になる。
○	旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言が解除され、夏の旅行の間合せや予約が少しずつ動いている。新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、旅行需要も徐々に回復することを期待したい。
○	旅行代理店（従業員）	・飲食店の時短営業や酒類の提供制限の緩和が、景気の底上げにつながる。
○	旅行代理店（役員）	・7月中旬以降、県民割などの旅行需要の喚起策が始まれば、秋にかけて期待できる。
○	旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大することなく、東京オリンピックを乗り切ることができれば、客の間に旅行に行く意識が芽生えたと期待される。今はとにかくきっかけが必要で、消費者は様子見をしている状況である。
○	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除になったため、病院関係の利用やホテルの宿泊者も、これから徐々に戻ることを期待している。
○	タクシー運転手	・今後は気候の変化や上半期の株主総会などもあるため、多少の利用を期待している。
○	通信会社（社員）	・インターネットの利用は更に必要性が高まっており、今後は高齢者などの利用拡大が見込まれる。
○	テーマパーク（職員）	・東京オリンピックが始まることで、人の移動が活発化すれば、来場者の動きにも変化が出ると予想される。
○	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、人流が活発になれば消費が増えるが、感染の収束時期がみえず、不透明感が拭えない。
○	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むようであれば、人流が活発になると期待している。
○	その他サービス [マッサージ]（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージのため服を脱ぐので、例年冬は来客数が減少し、暖かくなると増加する。
○	住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がっており、人混みも増えてきている。このような状況を踏まえ、客も活発になってくる。
○	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・高齢の客の間では、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了した人も出てきた。一方、ワクチンを打っていない人の訪問拒否は今後も予想される。30～40代に接種の順番が回ってくるのはいつになるかは不透明で、接種がまだのため、仕事にも就けないといった雰囲気にならないか心配である。
□	商店街（代表者）	・状況に変化はなく、高齢者は警戒感が強いいため、客足の引きの早さは今後も変わらない。
□	一般小売店 [時計]（経営者）	・東京オリンピックの終了時期となるが、状況は全く読めない。日本人選手の成績が良かったとしても、一部では雰囲気は良くなるが、全体としての景気が良くなるとは思えない。地域密着型の店として感じることは、果たして人の流れが通常に戻るのかが不透明なことである。新型コロナウイルスの変異株の感染リスクに正面から向き合うことが、当面の課題であり、大きな懸念材料でもある。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わったとしても、先行きが見通せないため、高額品の買い控えは当分続きそうである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、休業などがなければ、客の来店は増えると予想される。ただし、客の生活様式は大きく変化しており、それに商品の提案が追いついていない。また、取引先もかなり厳しい状況が続いており、新商品の開発や生産に慎重であるため、回復までには時間を要する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第5波の兆候もあり、年内は大きな回復につながらない可能性がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれ、高齢者層から中年層へと安心感が広がっており、来店回数の増加が期待される。今後は外食や外飲みが増える可能性はあるが、コロナ禍で家庭での調理や、家族との食事の良さが見直されたことで、以前のような状況には戻らない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加すれば、政府が抑制を図ると予想される。結果として、ワクチン接種の効果が出てくるまでは、状況は大きく変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・農家が人手不足なのか、今年は入荷量が少ないほか、果物も少し高く、種類も少なく感じる。それらに伴い、状況が上向くことはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、天候要因だけをみると、今年は猛暑が予想され、夏も長くなりそうのため、夏物商材を中心に売上は好調な推移となる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・全体的な景況感が上昇するとは思えない。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況などに応じ、外食や観光、小売の間での、需要のシフトが予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、飲食店への規制は多く、消費の拡大にはつながっていない。また、原油価格も高騰しているなど、景気が良くなるとはまだまだ考えられない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き届くまでは、今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がようやくスタートし、コロナ禍も少しずつ収まっていくが、企業での在宅勤務やリモートワークが定着しているため、ビジネス街での労働者の数は、以前の水準には回復しないと懸念している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・東京オリンピックに期待していたが、事前の盛り上がりを感じられないため、開催されたとしても変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響か、来客数、客単価共にやや悪化しており、しばらくはこの傾向が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まるまでは、スーツなどが売れないと感じる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・コロナ禍が落ち着いているとは思えず、消費マインドは低いままである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・ボーナスで車を買ったり、夏休みは車で出掛けたりといった話は全くない。販売に力がなく、修理の依頼のみである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業企画）	・先行きは見通せない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んできたものの、治療薬の開発が進まなければ、景気の回復は手放しに期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況につき、今後の再拡大の動きが見通せないため、景気の予想は立てにくい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、先に売上に変化が出るのは百貨店やスーパー、商業施設などとなる。様々な先行き不安もあって宝飾品の購入の優先順位は低く、外出機会や着用機会そのものが増えなければ、来客数や売上の増加は望めない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、この1年で客の買物行動が急激に変化しているが、商店街はその変化に対応できていない。

<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販] (企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大による、社会の不安解消を期待したいが、政府の計画どおりに進むかは不透明である。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販] (オペレーター)	・今のところは、受注量が大きく増える見込みはない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (企画)	・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染者数がまた増加に転じつつあり、先行きが全くみえない。ワクチン接種率が上昇して経済が継続的に動き出すまでには、年内一杯は掛かることが予想される。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・まん延防止等重点措置は継続されているが、人の動きは増えている。売上は人の流れに左右される。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種により感染が収束する期待はあるが、また新しい感染の波が来れば、希望は持てない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館 (経営者)	・今後も変わらないというか、予測ができない。回答の選択肢に、分からないという項目を加えてほしい。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染者数が、東京ではリバウンド傾向にあり、変異株の感染も増えている。まだまだ楽観視できる状況ではなく、今後もしばらく続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が安定しなければ、見込みが立たない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・企業や一般客の予約関係は、回復が全くみられず、将来に不安がある。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・まだどうなるか分からないが、多少良くなる。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (経営者)	・緊急事態宣言の解除で、客は様子見となっている。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (経理担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、2回の接種が完了している人はまだまだ少ない。さらに、ワクチンを接種したからといって、感染しないわけではない。夏休みを挟んで、感染者数は今よりも増えることが予想される。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (企画担当)	・6月21日から、緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、それほど変化はない。今後も厳しい状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	遊園地 (経営者)	・緊急事態宣言は解除となったものの、新型コロナウイルスの感染状況はまだ予断を許さない状態であり、現時点で将来に明るい見通しをもてる要素がない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (支配人)	・新型コロナウイルスのワクチン接種、東京オリンピックの開催で、2～3か月先の景気は変わってくる。
<input type="checkbox"/>	競輪場 (職員)	・正直なところ、新型コロナウイルスの感染状況に左右される。また感染が拡大して緊急事態宣言が発出されれば、先行きは見通せなくなる。
<input type="checkbox"/>	競艇場 (職員)	・コロナ禍のなか、電話投票やインターネット投票は好調であり、高い水準を維持している。しばらくは現状のまま推移しそうである。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速と、変異株による感染の再拡大の状況次第である。秋以降の本格的な回復を期待している。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・大阪府では緊急事態宣言は解除となったが、プロ野球での客の入場は5000人が上限と変わらず、更なる緩和はまだ決まっていない。なお、3か月後の状況は不透明であり、ほぼ現状と変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	美容室 (店員)	・例年、秋は特に動きが悪くなり、来店周期が延びやすいため、今と状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・例年よりも、明らかに入会する生徒数が減り、退会者数が多くなっている。今が底だとは考えたいが、しばらくはこの状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染収束までは、今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [展示場] (従業員)	・大阪ではまん延防止等重点措置が続いているため、客の住宅購入意欲が高まるには、まだ時間が掛かる。
<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・失業者数の増加に伴い、消費も冷え込むと予想される。

▲	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言の解除で、巣籠り状態が徐々に緩和されるため、関連の需要が減少していくと予想される。
▲	スーパー（社員）	・前年に売上が増えた反動で、今月は苦戦しているなか、競合の増加で売上を確保できない店舗が増えている。今後は厳しい状況が続くそうである。
▲	コンビニ（店員）	・周辺の店舗も客がかなり減少しており、まだまだ景気の先行きが良くなる要素はない。客も景気について良くない内容を話すことが多い。
▲	家電量販店（店員）	・半導体工場の大規模火災による影響が、家電にも徐々に始まっている。
▲	家電量販店（店員）	・現場は厳しいと考えている。工事が発生するような場合は、店舗での対応に変化はないが、全体的にネット経由での購入が増えており、現場でも客の声から実感される。
▲	家電量販店（人事担当）	・梅雨が長引き、気温の上昇が遅れている。前年の特別定額給付金による売上増加の反動もあり、エアコンなどの季節商材の売上が伸びない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による収入の減少が、消費に影響しつつあると感じる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新車の販売が全体的に落ち込んでいる。また、外出の自粛によって走行距離も短いため、車検の工賃も上がらない。
▲	その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が少し収まってきており、客の反応が以前の状態に戻りつつある。
▲	その他飲食 [ファーストフード]（店員）	・新型コロナウイルスの感染が一旦落ち着き、緊急事態宣言も解除されたが、再び感染拡大のおそれがあるという危機感から、来客数が減少しつつある。
▲	通信会社（企画担当）	・給付金の支払が遅れている事業者は多いため、新型コロナウイルスの感染が収束しない状況が続けば、廃業が増える。
▲	美容室（店長）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が終わっても、実際に来客数が増え始めるのは、秋口以降と予想される。
▲	住宅販売会社（経営者）	・各種の建材や材木が不足し始めている。これは米国の住宅着工件数が急激に増えた影響であり、今後の資材調達の方法を検討しなければならない。
▲	その他住宅 [情報誌]（編集者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速により、外出や飲食、旅行機会の増加につながる。巣籠り消費の代表であった住宅の購入は、全体的に減少すると予想され、市況の悪化に対する懸念が強い。
×	一般小売店 [衣服]（経営者）	・東京オリンピック以降の新型コロナウイルスの感染状況が全く予想できず、場合によっては、また緊急事態宣言が発出されるかもしれない。感染者数が増えれば人出も減るなど、不安要素ばかりが増えていく。数か月後の景気に光は全くみえず、感じることもできない。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、客足が遠のく。ワクチン接種についても、東京オリンピック・パラリンピックが終わればスピードが鈍ると予想される。景気の回復は早くても10月で、秋物商戦からの改善に期待している。
×	衣料品専門店（経営者）	・今後も飲食店が苦しいといった報道を目にするが、物販関連も非常に苦しいため、廃業する会社が増えてくる。
×	家電量販店（企画担当）	・将来への備えの不安から、耐久消費財の買い控えなどが始まり、かなりの落ち込みにつながることを予想される。
×	住関連専門店（店長）	・悪い状況が長引くと予想される。緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行し、今も解除されていない。これまでの経験から、来客数の回復には時間が掛かると予想され、活発な営業活動の機会も減り続けている。
×	その他専門店 [食品]（経営者）	・飲食店が主な取引先である食品の卸売業界には、政府の支援が届いておらず、販売状況だけではなく、経営自体が危機的な状況となる。
×	一般レストラン（経営者）	・協力金の支給の遅れがひどく、店が維持できないケースも急増すると予想される。特に、個人経営の場合、手元の資金に限界がきて家賃が払えず、どんどん閉店に追い込まれている。営業の規制が続く、協力金の支払が遅れている以上、景気の回復には程遠い。
×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピック以降、新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大し、ますます感染者数が増える。今年一杯はかなり厳しいと予想される。

	×	観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束していないため、悪影響が続く。
企業 動向 関連  (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・コロナ禍で営業などの動きに大幅な制限はあるが、売上、利益共に増えている。今後も順調な伸びが期待できそうである。
	◎	金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期になるため、良くなる。
	○	食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に変わり、繁華街の人出も増えてきているようなので、今後に期待したい。
	○	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける人が更に増えれば、客の流れは大きく変わるため、景気は少し良くなる。
	○	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、ワクチンの接種が進むにつれて、状況は改善していくと予想される。
	○	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるほか、東京オリンピック・パラリンピックの開催も確実となっている。ただし、変異株の感染拡大には、注意が必要である。
	○	金属製品製造業（経営者）	・半導体不足も徐々に回復に向かい、自動車メーカーによっては増産の動きもある。
	○	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いているというだけで、通販会社やその関連の運送会社では、増収増益の動きが今後も続く。
	○	輸送業（商品管理担当）	・酒類の配達が低迷している。新型コロナウイルスの影響が大きく、来月辺りからは少しずつ回復してくると予想される。
	○	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は良くないが、今後はワクチンの接種で若干良くなる。
	○	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡り、感染の再拡大がなければ、徐々に出稿を再開する客も増えると予想される。
	○	経営コンサルタント	・努力している会社や、回復の見通しが立ちそうな会社を選び、そのなかで特に販売戦略の策定や人材の育成を中心に支援している。その分野に力を入れて頑張っている取引先は、徐々に成果が出る。新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、徐々に明るくなると確信している。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先が見通せない。
	□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染の収束時期が見え始めたとしても、受注量などに変化が開始するのは、もう少し先になる。
	□	化学工業（経営者）	・受注高は2年前の95%と、現状の売上と同水準であるため、景気はしばらく変わらない。
	□	化学工業（管理担当）	・出荷量に関しては、取引先から現在の水準を維持するとの情報を得ている。ただし、原材料である化学品の値上がりが大きいため、利益の維持が難しくなると予想している。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・悪くなる要素が具体的に見受けられず、希望的観測も含めて、今の状況に変化はない。材料が入手しにくくなっているものの、それを考慮してかなり先に発注されるなど、材料の入手の可否を含めて、現状維持が予想される。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・絶不調の状況は今後も続く。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連に限定された好況であるが、半導体の需要が世界的に広がっているほか、半導体の進歩の余地も大きいので、まだまだ好況が続くことは間違いない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が伸びておらず、受注量は少ない。
	□	電気機械器具製造業（経理担当）	・リーマンショックを上回る悪化となっており、全く先行きが見通せない。
	□	建設業（経営者）	・取引先はリモートワークが多く、実務や営業面での折衝に影響が出ている。この状況が打開できなければ、変わらないと予想される。
	□	建設業（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響で、受注競争が厳しくなる。木材や建設資材価格の高騰もあり、建設業界は先行き不透明である。

	□	金融業 [投資運用業] (代表)	・今は正に、景気が浮揚するか減退するかの岐路に立っている。全ては東京オリンピックの成否にかかっており、イベントとして成功しても、新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、東京オリンピックが原因ということになる。また、秋の衆議院選挙に向けて、政府は何か経済にプラスとなるような対策を打つと予想され、それが奏功するか否かが、景気を左右することになる。
	□	新聞販売店 [広告] (店主)	・新聞折込の動きには、回復が見込めない。
	□	広告代理店 (営業担当)	・ここ数か月は、紙媒体、Web媒体共に、広告売上は2年前と同じである。
	□	司法書士	・新型コロナウイルスの変異株に加え、東京オリンピックによる感染拡大をワクチン接種でどれくらい抑えられるかによるが、厳しい状況になると心配している。
	□	経営コンサルタント	・飲食店にとって良い材料がない。
	□	その他サービス [自動車修理] (経営者)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は続いており、上向きに変わる要素はない。
	□	その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	・商品の動きは余り良くない。
	□	その他非製造業 [商社] (営業担当)	・新型コロナウイルスによる影響が根強く、部品の入荷予定が分からないケースもあるなど、先行きは不透明である。
	▲	繊維工業 (総務担当)	・新型コロナウイルスの感染収束を期待したいが、時期としてはまだ早過ぎるように感じる。特に、変異株の流行による影響がまだまだ不透明である。
	▲	電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・7月は東京オリンピックに向けてテレビの需要が見込まれるが、8月以降はその反動による落ち込みが懸念される。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきている。
	▲	その他製造業 [履物] (団体職員)	・緊急事態宣言が解除されたが、依然として兵庫県にはまん延防止等重点措置が出ており、日常の生活には戻っていない。首都圏では新型コロナウイルスの感染者数が減っておらず、感染の第5波が懸念されるなど、影響はまだまだ続くと予想される。
	▲	建設業 (経営者)	・木造住宅の輸入材料不足により、資材価格の高騰が建築価格を押し上げ始めた。新築案件の先延ばしの動きが心配である。
	▲	輸送業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束するまで、客が買物をしたいという気持ちにはならないため、売上は上がらない。
	×	化学工業 (企画担当)	・食用原料油の価格の高騰が止まらないが、販売価格への反映はタイムリーに行えない。
	×	金属製品製造業 (営業担当)	・原材料の鋼材価格が大幅に上がっている一方、販売価格への転嫁が進まず、採算が悪化している。
	×	不動産業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの変異株による影響が出てきている。新たな感染数が増えて、再び緊急事態宣言が発出される可能性が出てくるため、今後も悪くなる。
	×	その他非製造業 [電気業] (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないため、経済の立て直しが進まない。
雇用 関連 (近畿)	◎	*	*
	○	人材派遣会社 (支店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、感染が落ち着けば、かなり回復すると予想される。
	○	人材派遣会社 (営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチンの職域接種が具体的に進みつつあるなど、新型コロナウイルス発生前の経済活動に戻る材料が出てきている。
	○	人材派遣会社 (役員)	・東京オリンピックの開催や、新型コロナウイルスのワクチン接種の増加を見込み、景気が良くなることを期待している。
	○	新聞社 [求人広告] (管理担当)	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も急速に増えている。ワクチンの接種がこのまま順調に進み、東京オリンピックの開催が現実となれば、景気は上向くと予想される。ただし、東京では人流が増え、感染者数が再び増え始めている。緊急事態宣言が発出されるようなことになれば、景気は腰折れする可能性がある。
	○	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進行や、東京オリンピックの開催による人流の増加が予想される。それに伴って企業活動も活発化するため、今後の回復が期待できる。



○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて、景気が上向いてくると予想され、各社も同じように考えている。
○	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の動向次第であるが、高齢者よりも働き盛りの年齢層への接種を期待したい。
□	人材派遣会社（経営者）	・第1四半期の景気は芳しくなく、第2四半期も景気そのものは横ばいとなる。10月からは様々な業種で忙しくなるが、新型コロナウイルスの年内の感染収束は期待できず、企業業績の二極化傾向が顕在化する。
□	アウトソーシング企業（社員）	・雇用の条件や形態には、変化がない。
□	職業安定所（職員）	・6月の新規求人数は前年比で微減となっているが、新規求職者数は減少傾向で推移している。求職者からは、新型コロナウイルスのワクチン接種後に就職活動を行うという声もあり、企業にとっては人材確保の停滞につながる懸念される。
□	職業安定所（職員）	・製造業では、特に自動車関連の一部で求人改善がみられるが、求人数全体は伸び悩んでいる状態であり、景気の回復には至らない。
□	民間職業紹介機関（職員）	・今後もしばらくは、新型コロナウイルスの感染拡大による直接的な影響のほか、ウッドショックなどの間接的な影響を払拭できる見通しが立たない。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・今回の緊急事態宣言前から、採用活動のオンライン化が進んでいるため、前年のように宣言の前後で採用活動に大きな変化はない。手段が変わるだけで、採用の活動量は変わらないが、3か月後は23年卒の採用に向けた、秋冬の業界説明会の出展募集が始まるため、それに伴う企業の動きに着目したい。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックによる効果が、マイナスとプラスのどちらに転ぶかで変わる。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスによる特需が落ち着いてくると予想される。通常の求人は新型コロナウイルス発生前に比べると減少しているため、今の状況よりも少し悪くなる。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・求人はあるが、企業ごとの採用人数が減少傾向にある。また、無理に採用しなくても、来年に優秀な人材が確保できればよいと考える企業が出てきている。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種による感染者数の変化については、全く見通せない。この2～3か月の地元企業によるプロモーション費の動きも、前年の65%台となっている。